

2025年度「学校インターンシップ」募集プログラム

プログラム番号	プログラム名称	受入校名	担当教員名	インターン企画趣旨	募集人数	継続する関わり(※)	宿泊研修など	費用	参加要件等	備考
1	東北と復興 S	自由の森学園	内田 一樹	宮城県石巻のフィールドワークを中心に、人々の営みや生業に東日本大震災が何をもたらしたかを考え、14年目の「いま」を知る	2名	6月・7月・9月の火曜日のうち6回程度(調整) 13:40～15:10	宮城県石巻市 7/11(金)～7/14(月)	学校までの交通費 宿泊研修7万円	・教職志望者で探究的学習に関心のある学生であること。 ・年度末(2月9日(月)午後)に開催される報告会に必ず参加すること。 ・参加に必要な費用を自己負担できること。(大学から一部補助を行う。)	宿泊研修は新幹線移動で東京駅集合解散。
2	東北と復興 A		内田 一樹	福島県浜通りのフィールドワークを中心に、人々の営みや生業に東日本大震災が何をもたらしたかを考え、14年目の「いま」を知る	1名	10月・11月・12月の火曜日のうち6回程度(調整) 13:40～15:10	福島県 11/23(日)～11/25(火)	学校までの交通費 宿泊研修7万円	・教職志望者で探究的学習に関心のある学生であること。 ・年度末(2月9日(月)午後)に開催される報告会に必ず参加すること。 ・参加に必要な費用を自己負担できること。(大学から一部補助を行う。)	宿泊研修は新幹線移動で東京駅集合解散、もしくは貸切バス。
3	ワールド・ピースラボ		渡部 典弘	「開発問題」を中心としながら、平和を脅かす国際的課題への学びを深める1年間のうち、夏の長崎研修への帯同および、その準備・まとめ	2名	7月・9月の土曜日のうち6回程度(調整) 11:10～12:40	長崎県 8/8(金)～8/11(月)	学校までの交通費 宿泊研修10万円	・探究的学習および平和教育に関心のある学生が望ましい。 ・年度末(2月9日(月)午後)に開催される報告会に必ず参加すること。 ・参加に必要な費用を自己負担できること。(大学から一部補助を行う。)	宿泊研修は羽田空港集合解散。
4	環境学		藤原 敏	地球温暖化対策・自然エネルギーの可能性・自然の多様性などについて学ぶ1年のうち、北海道研修の帯同および、その準備・まとめ	1名	9月・10月の土曜日のうち6回程度(調整) 9:30～11:00	北海道 10/3(金)～10/7(火)	学校までの交通費 宿泊研修10万円	・探究的学習およびエネルギー政策に関心のある学生が望ましい。 ・年度末(2月9日(月)午後)に開催される報告会に必ず参加すること。 ・参加に必要な費用を自己負担できること。(大学から一部補助を行う。)	宿泊研修は羽田空港集合解散。
5	課題別学習 ワールドスポーツ	東京大学教育学部 附属中等教育学校	日比 健人	中3高1が合同で学ぶ選択授業で、生徒が「近代スポーツ」以外の民族スポーツや伝統スポーツ、ニュースポーツに取り組む1年間に伴走	若干名	通年の火曜日のうち6回程度(調整) 13:20～15:10(可能なら16:00くらいまで)	山中湖スポーティア 7/31(木)～8/2(土)	学校までの交通費 宿泊研修3万円	・生徒とともに様々なスポーツ活動に参加をしつつ、2～3週にわたってひとつのスポーツの提案ができればなお良い(希望者のみ)。 ・年度末(2月9日(月)午後)に開催される報告会に必ず参加すること。 ・参加に必要な費用を自己負担できること。(大学から一部補助を行う。)	宿泊研修は学校集合解散でバス利用。
6	参与観察	福島県大熊町立 学び舎 ゆめの森	南郷 市兵	原発事故による避難から2023年度に帰還・開校した幼小中一貫校での、授業や課外活動への参与観察	数名	なし	9月第1週～第4週のうち4泊5日(調整)	学校までの交通費 宿泊費は一泊5,000円程度	・月～金の1週間の児童の学校生活丸ごとに寄り添う。 ・年度末(2月9日(月)午後)に開催される報告会に必ず参加すること。 ・参加に必要な費用を自己負担できること。(大学から一部補助を行う。)	各期間2名以内に収まるよう学生の希望を踏まえて調整する。
7	参与観察	福島県立 ふたば未来学園 中学校・高等学校	NPO法人 カタリバ 池端 健	探究的な学習に力を入れているふたば未来学園で、学習支援をおこなっている「カタリバ」の臨時スタッフとして、授業の参与観察および高校生への放課後支援	数名	なし	9月第1週～第4週のうち4泊5日(調整)	学校までの交通費 宿泊費は一泊1,000円程度	・月～金の1週間の生徒の主として放課後に寄り添う。 ・年度末(2月9日(月)午後)に開催される報告会に必ず参加すること。 ・参加に必要な費用を自己負担できること。(大学から一部補助を行う。)	各期間2名以内に収まるよう学生の希望を踏まえて調整する。

※「継続する関わり」の項目に(調整)とある場合、受け入れ教員が参加学生の事情を考慮しながら日程調整を行う。
※ 1～4の自由の森学園のプログラムについては、スタディツアーの数週間前から授業に参加し、生徒と交流を深めながら課題意識の共有をおこない、ツアー後のまとめにも参加する。
※ 5.のワールドスポーツに関しては、山中湖におけるSUP実習のほか、校内で行われる学習のうち少なくとも1種目に関して参加できるよう調整する。